広 島 県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第 163回

令和3年1～3月期　実績

令和3年4～6月期　予測

34商工会地域（白部分）

令和3年4月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨　この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。

広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。

2. 調査対象　(対象地区)　県内15商工会

祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安古市町、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北

(対象企業)　225社

製造業47　建設業43　小売業67　サービス業68

3. 調査方法　経営指導員による訪問面接調査

4. 調査期間　令和3年1月～3月期実績、及び令和3年4月～6月期の見通し

5. 調査時点　令和3年3月1日

6. DIとは　Diffusion Index　(景気動向指数)の略。

各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(＋)なら・・・・・・・・・・強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(－)なら・・・・・・・・弱気(悲観)、低下機運

例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、DI＝50－20＝30となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準　変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。

「横ばい」　0を基準に±2ポイント未満

「小幅、やや」　0を基準に±2～8ポイント未満

「大幅、大きく」　0を基準に±8ポイント以上

8. その他　この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考)　全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■　(独)中小企業基盤整備機構　(3団体を含む全国版報告書)

http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/

■　中国財務局　(中国地方の経済情勢)

http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html

■　広島県　(広島県経済の動向)

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html

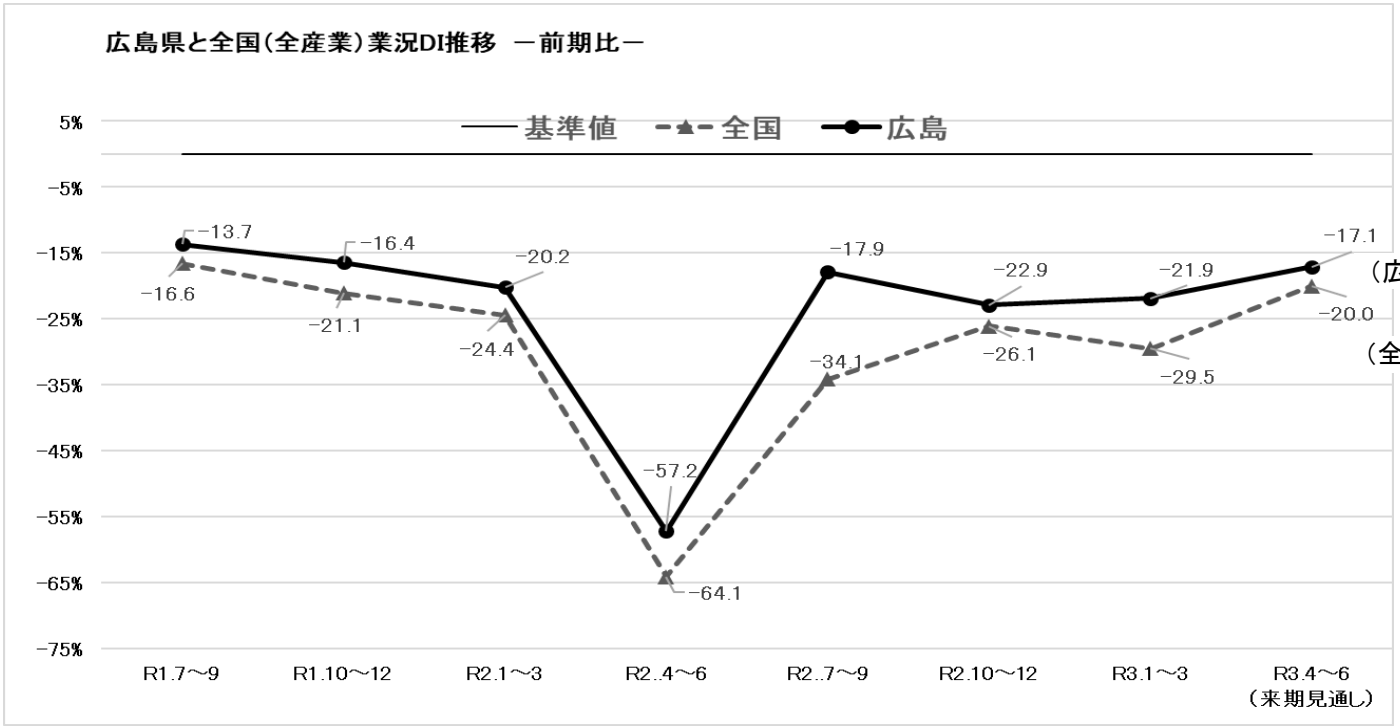
産業全体の概況

1.広島県と全国（全産業）　※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、前期-22.9から-21.9（前期差1.0ポイント）とほぼ横ばいで推移。

一方、全国DIは前期-26.1から-29.5（前期差3.4ポイント）と、小幅に低下の動きとなった。

広島県（全産業）業況DI推移　－前期比－

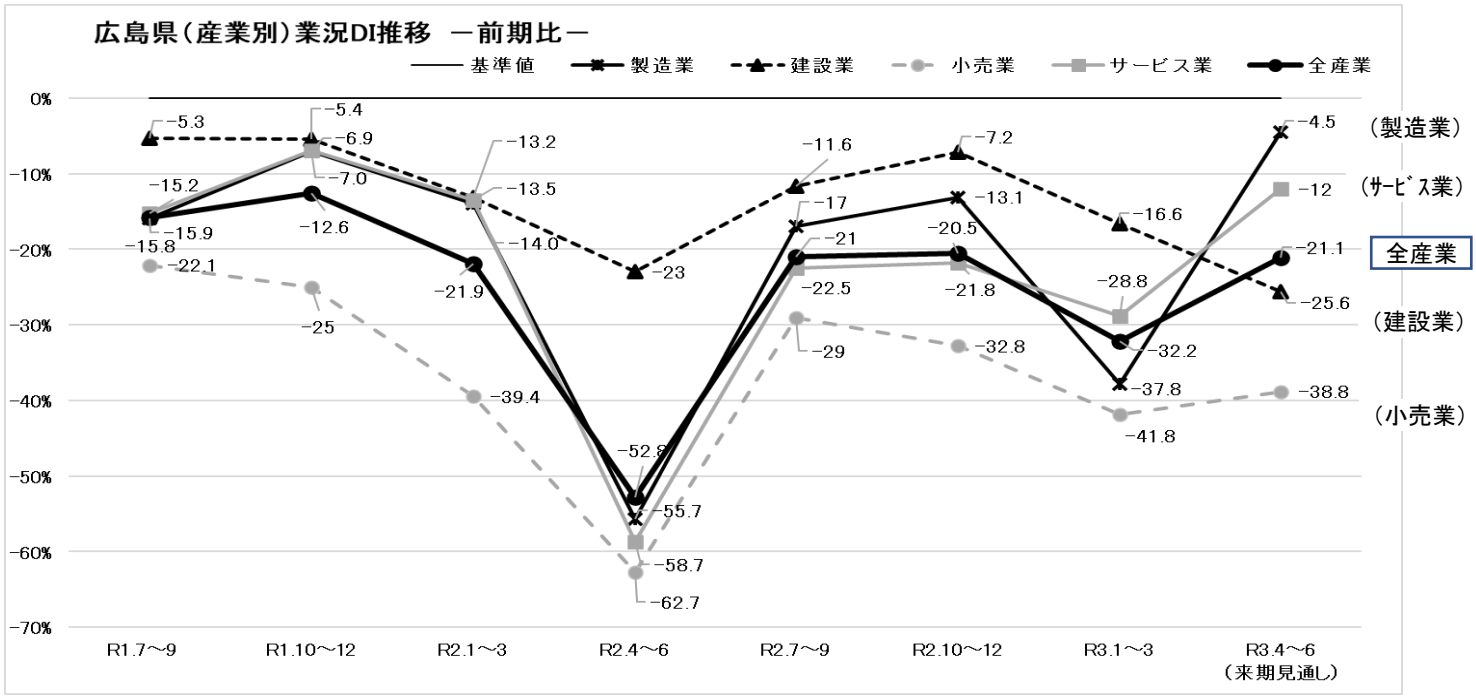


2.広島県（産業別）　※商工会地域のみ

広島県産業別では、今期は全ての業種で低下傾向となり、特に小売業は2期連続で低下となった。

一方、来期は、建設業でさらに低下を見込むが、その他の産業では回復傾向を見込んでいる。

広島県（産業別）業況DI推移　－前期比－

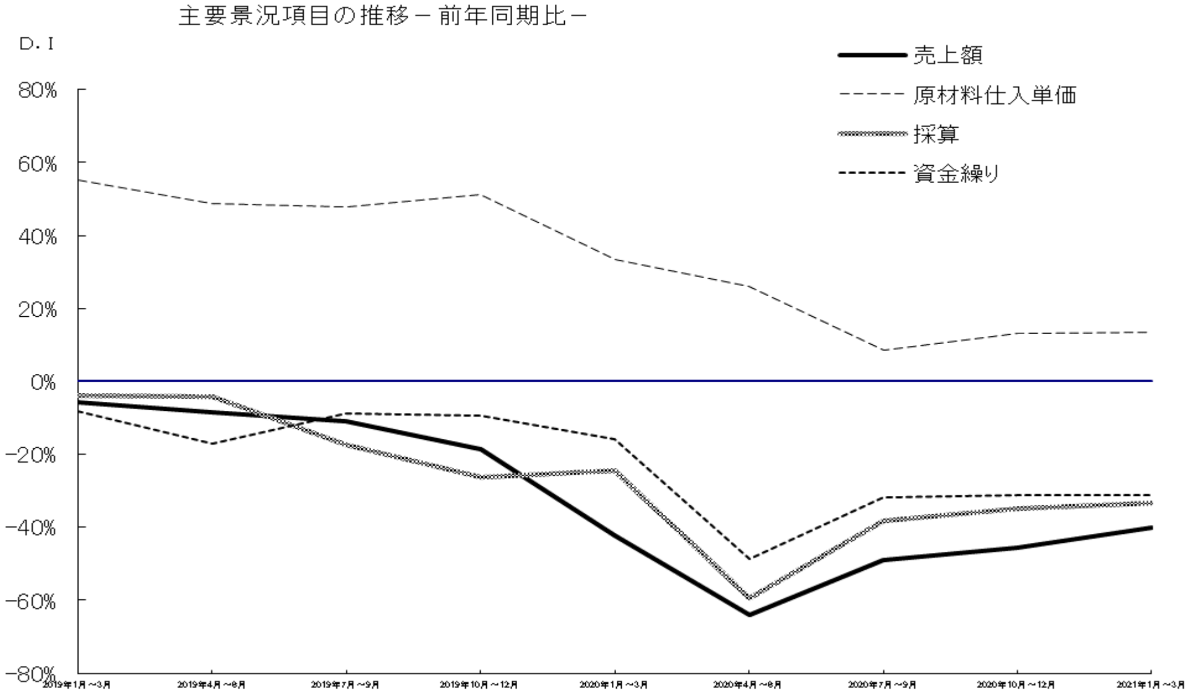


製 造 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 －前年同期比－

製造業 DI	（前期）	（今期）		（来期見通し）	
主要項目	R2.10～12	R3.1～3	前期との比較	R3.4～6	今期との比較
売　上　額	−45.7	−40.1	↗	−24.4	↗
原材料仕入単価	13.3	13.6	→	13.7	→
採　　算	−34.8	−33.4	→	−17.8	↗
資　金　繰　り	−31.1	−31.1	→	−28.9	↗

広島　製造業



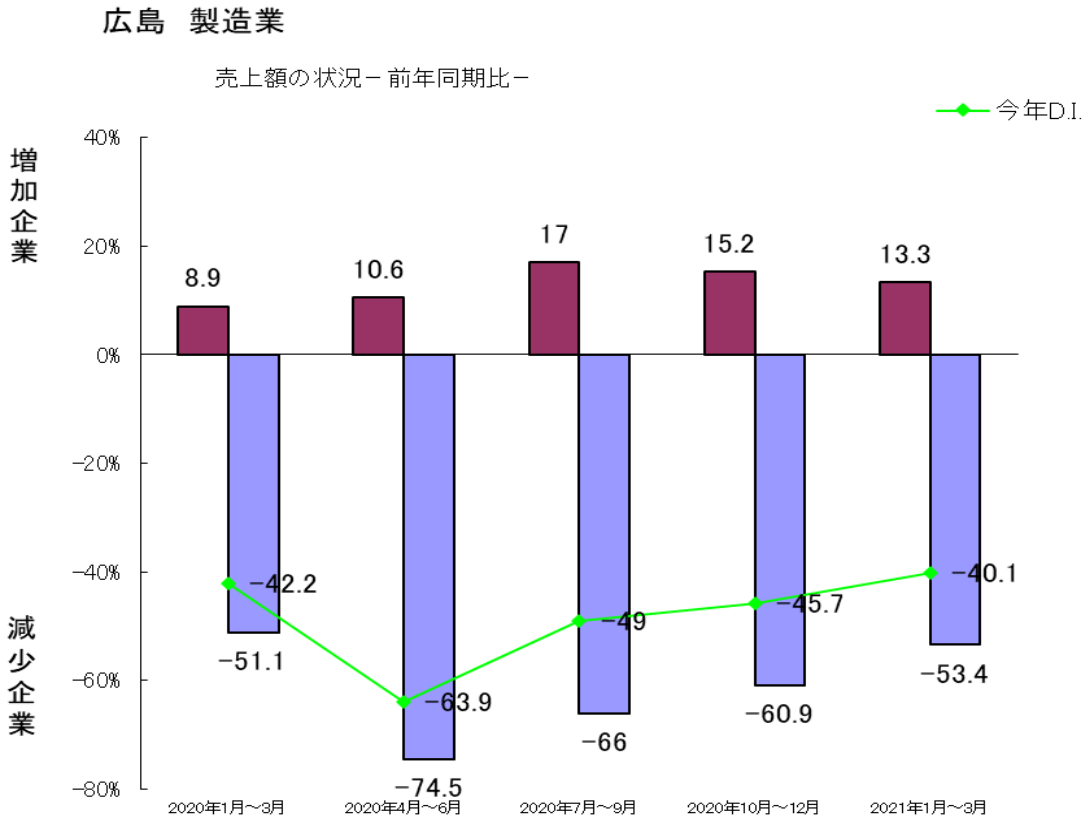
････ 企業のコメント ･･

- 昨年12月の時点での予測より、売上が上向き、回復傾向にあるが、コロナ前の売上にはまだ当分戻りそうにはない。原材料価格が上がっており、どこまで価格転嫁ができるか不安である。工場の人材も不足している。（鉄素形材製造業）
- 今期はコロナの影響があり、半年間程売上が半分以下となり、後半は持ち直したが厳しい結果となった。また車関連は脱炭素の関係で将来大きな転換期があり、当社も対応していかなければならない。不透明な時期を迎えている。（その他の生産用機械・同部分品製造業）
- 受注については3月期から好転する予測ですが、物流の悪化から材料入荷が遅くなっています。よって、材料価格の上昇と製作期間の短縮が発生しているため、生産コストの悪化が予測されます。（その他の鉄鋼業）
- アフターコロナには、まだ時間がかかるものと思われ、経済の回復が遅れることから、価格競争は厳しくなると思われる。スリム化、効率化を考えなければならない。（水産食料品製造業）

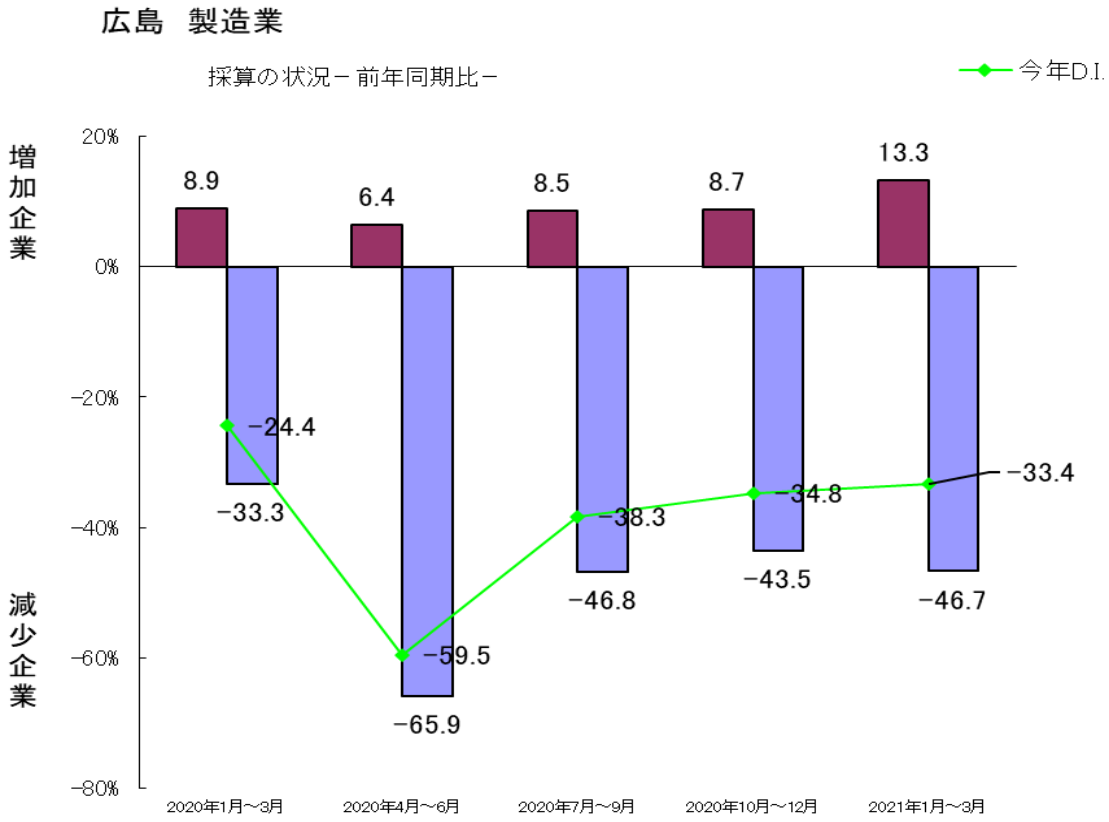
- 仕入単価が運送費の添加で上昇、仕入量をある程度入れなければますます単価があがる。製造量を減らすと原価も上がり利益を上げるのが難しくなっている。飲食も休業等で受注が半減している。悪化が目に見えてきた。（調味料製造業）
- 前期、前々期と変わらずコロナの影響で前年度より売上が減少している。それに加えて原材料の上昇により利益が減少していいる。（畳製造業）

製 造 業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

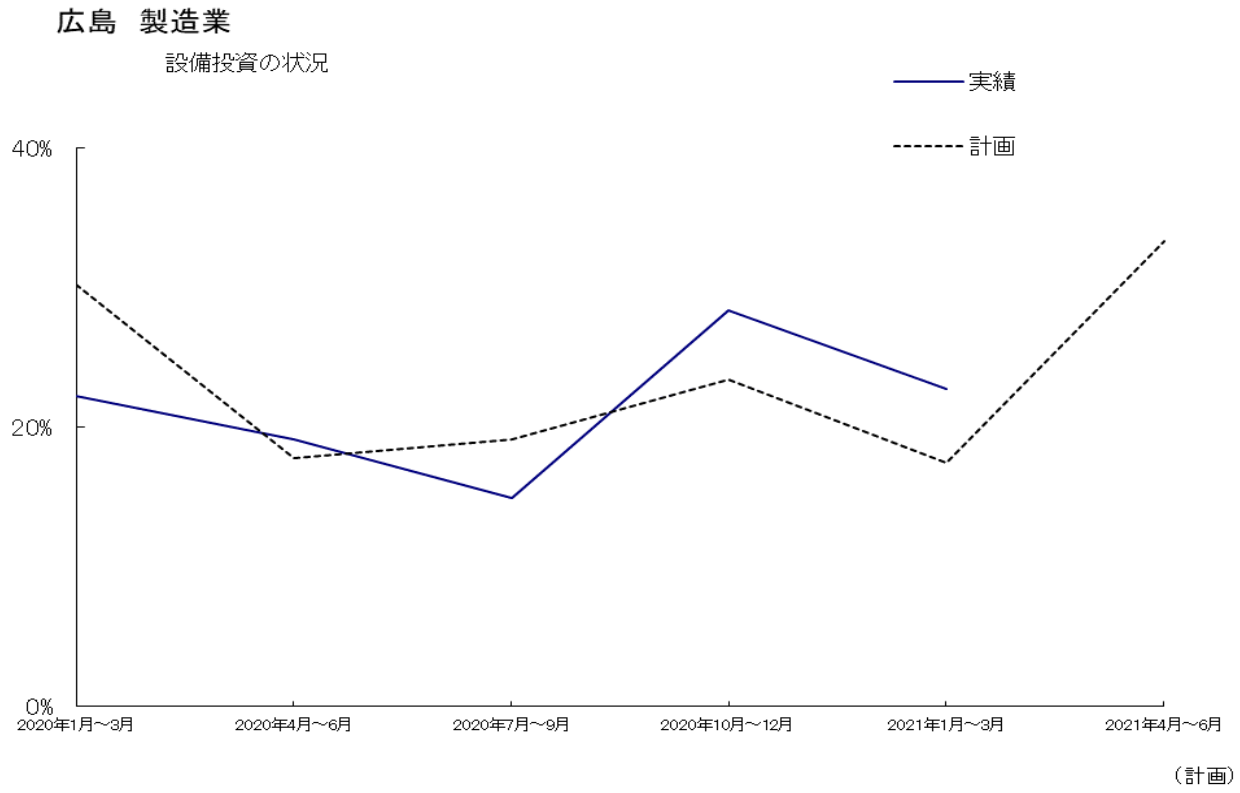


3.採算(経常利益) -前年同期比-

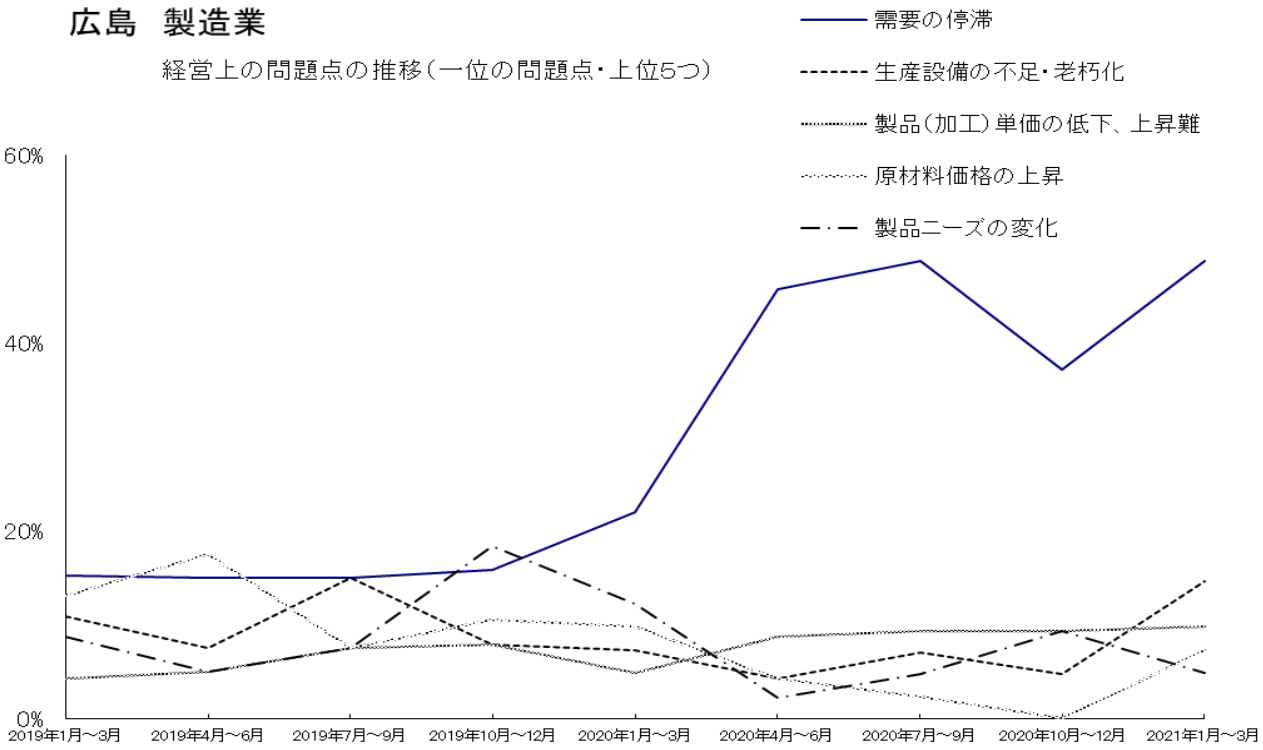


製 造 業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5.経営上の問題点　（1位の問題点・上位5つの推移）



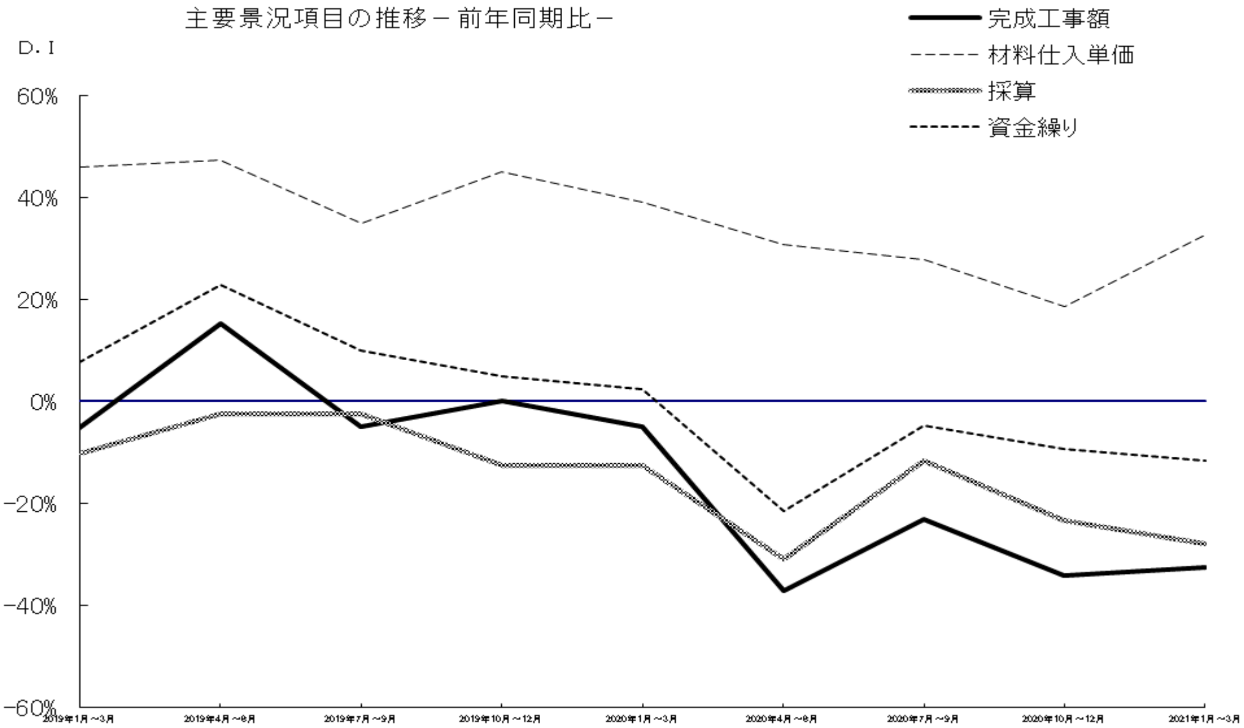
建 設 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移　－前年同期比－

建設業　DI　　（前期）　　（今期）　　（来期見通し）

主要項目	R2.10～12	R3.1～3	前期との比較	R3.4～6	今期との比較
売上額（完成工事額）	−34.1	−32.6	→	−27.9	↗
材料仕入単価	18.6	32.6	↗	30.3	↘
採算	−23.3	−27.9	↘	−27.9	→
資金繰り	−9.3	−11.6	↘	−11.7	→

広島　建設業

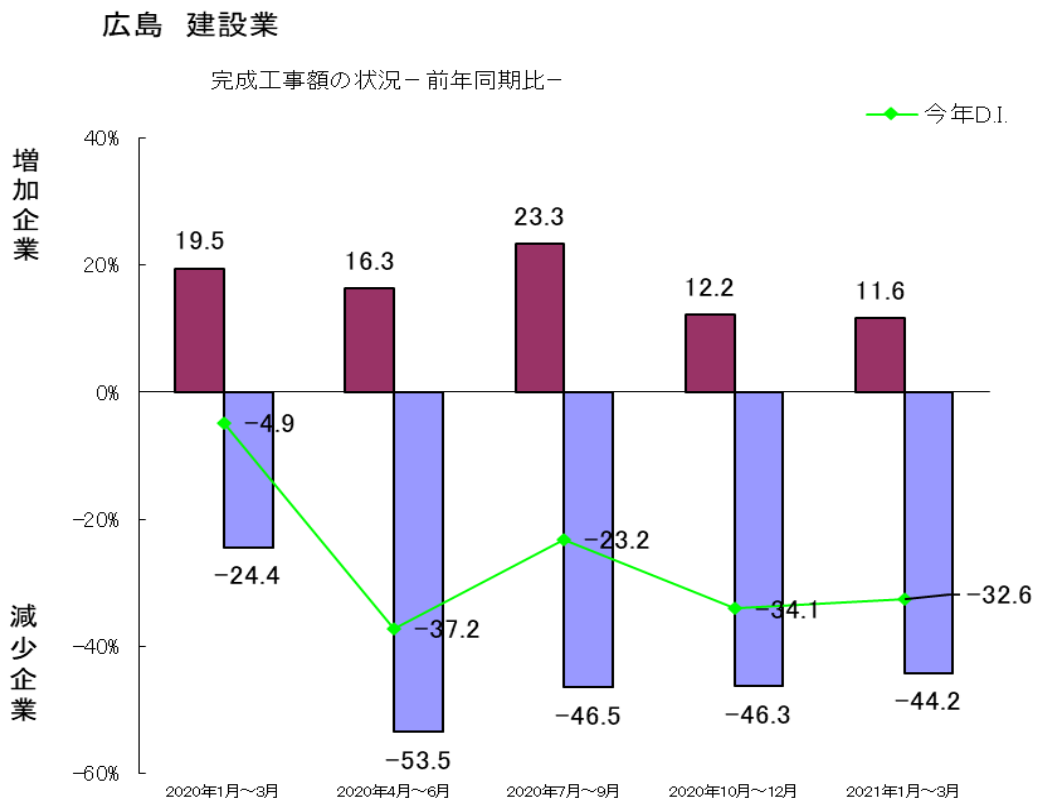


････　企業のコメント　･･

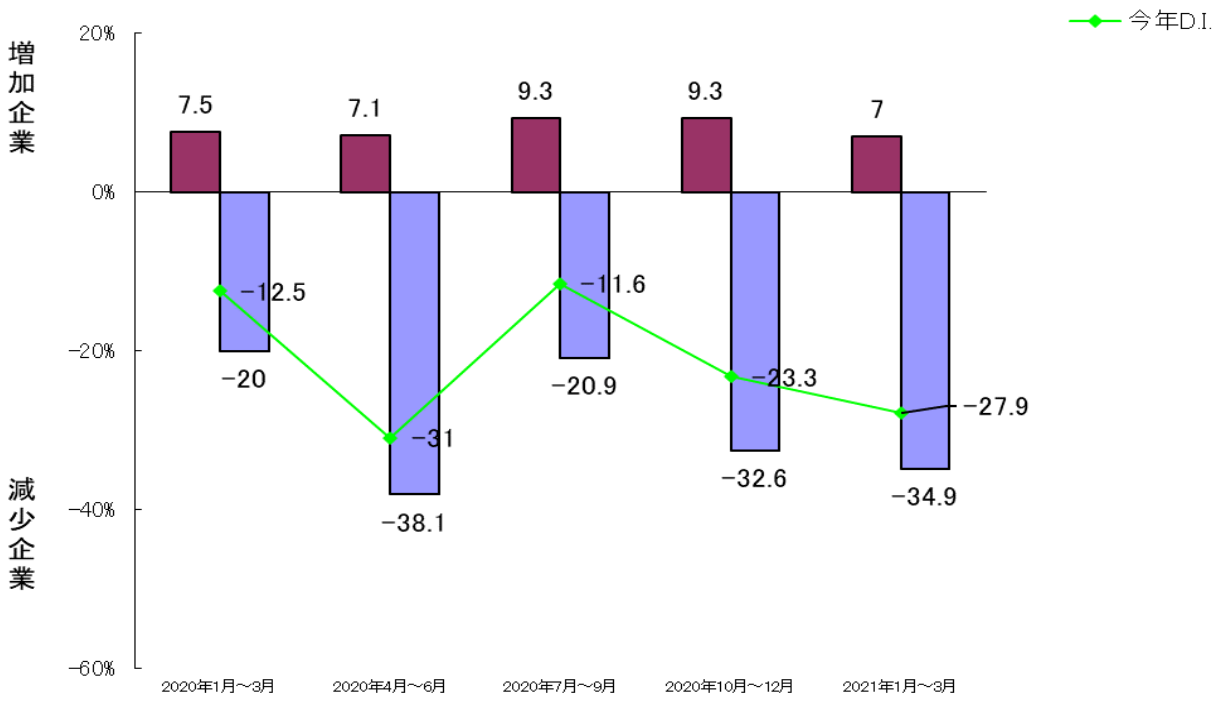
- 資金繰りが難しい月が、何度かありました。契約時に、前金を頂くなどしていこうと考えています。（大工工事業）
- 当社は5月決算で、令和2年度は当初から官公入札の落札が順調にいき、売上げも計上できているが、今のコロナ禍の中、官公需要がどのように変化するか見通しもつかず、これから先の需要に不安を感じている。（一般土木建築工事業）
- コロナの影響で大手ゼネコンの仕事受注が減少している。（鉄骨･鉄筋工事業）
- 資金繰りに不安があります。（建築リフォーム工事業）
- 当社の事業内容は、大体修理なので景気に左右されないので、業況は開業から変わってないです。（給排水･衛生設備工事業）
- 今後の経済状況の変化が予測し難く、常に不安がある。（電気配線工事業）

建 設 業（商工会地域）

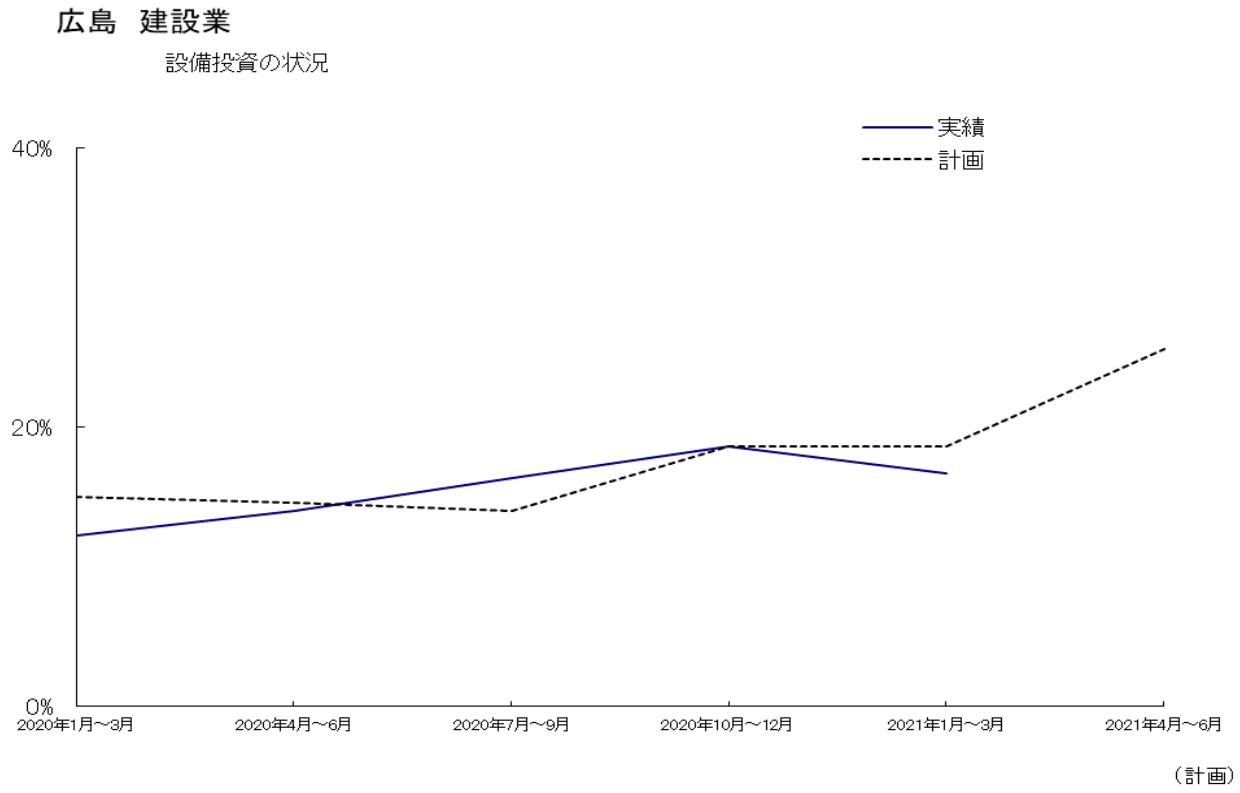
2.売上額（完成工事額） -前年同期比-



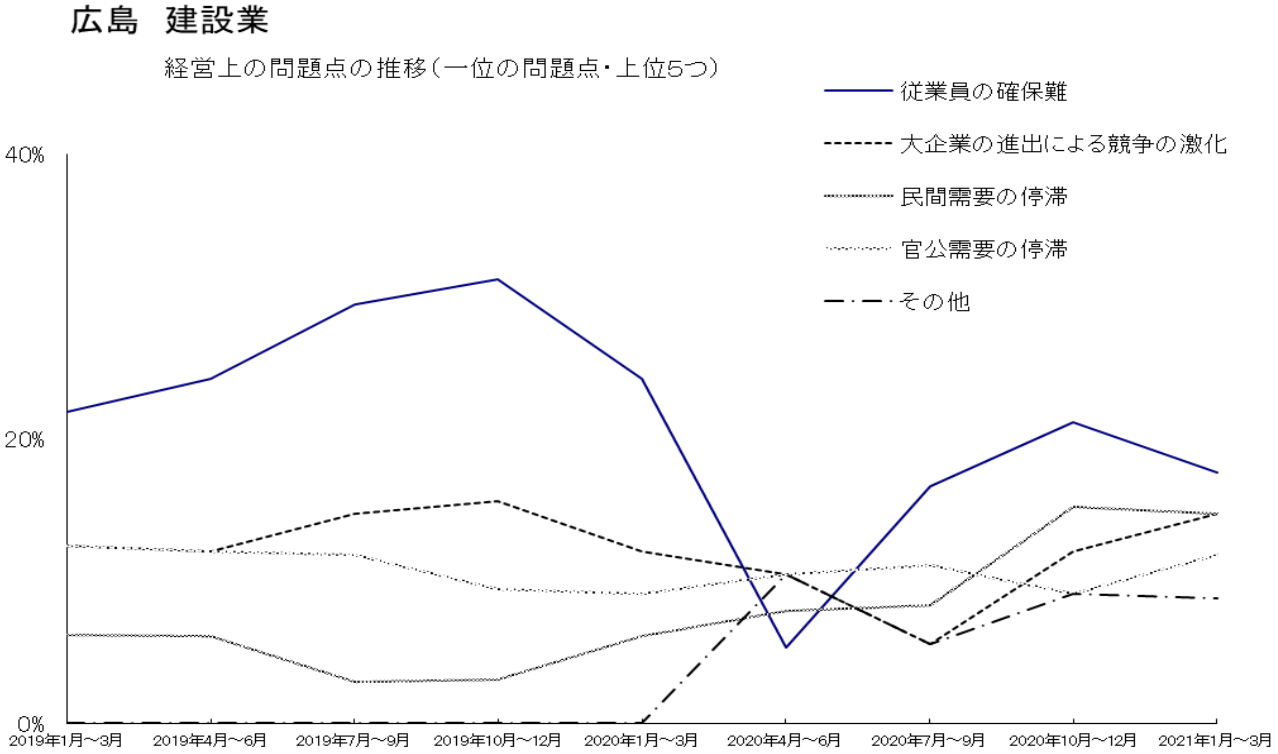
3.採算（経常利益） -前年同期比-



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点　（1位の問題点・上位5つの推移）



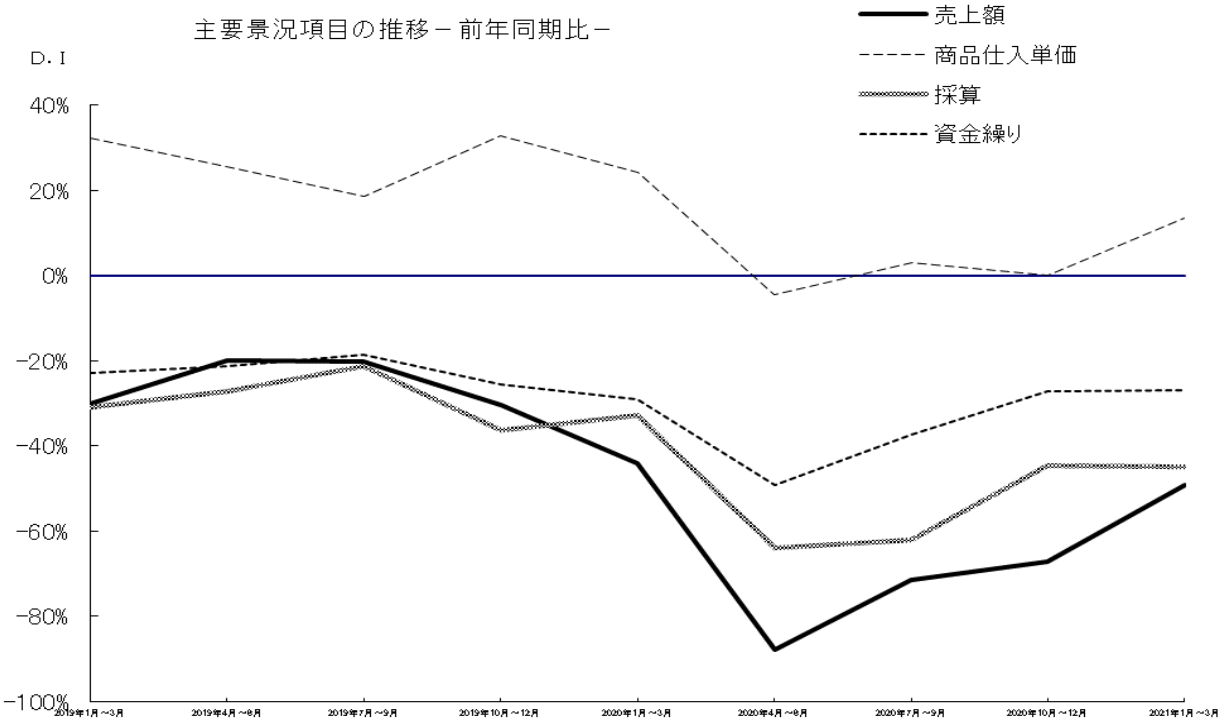
小 売 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移　－前年同期比－

小売業　DI　　（前期）　　（今期）　　　（来期見通し）

主要項目	R2.10～12	R3.1～3	前期との比較	R3.4～6	今期との比較
売　上　額	−67.1	−49.3	↗	−47.8	→
商品仕入単価	0.0	13.5	↗	16.5	↗
採　　算	−44.7	−44.8	→	−41.7	↗
資　金　繰　り	−27.2	−26.9	→	−29.8	↘

広島　小売業



・・・・　企業のコメント　・・・

・ 今期の売上等は、昨年とほぼ同じ。コロナ禍で、お客様が他で買物をせず、地元で買物をしていただいたり、市の商品券発行等も助かっている。心配なのは来期以後。（その他の織物・衣服・身の回り品小売業）

・ 新型コロナ騒動から約1年になりますが、中々V字回復はいかず、むしろ業績悪化が、加速している状況。各支援を受けてはいるが、好転していない。根本的な業務形態の見直しをしていかなければならないという思い。（酒小売業）

・ 事業主の高齢化による事業の承継を予定しており、それに伴う設備の改修など問題山積。先の見えないコロナ禍で、どこまでの投資をすべきか、迷うところでです。（菓子・パン小売業）

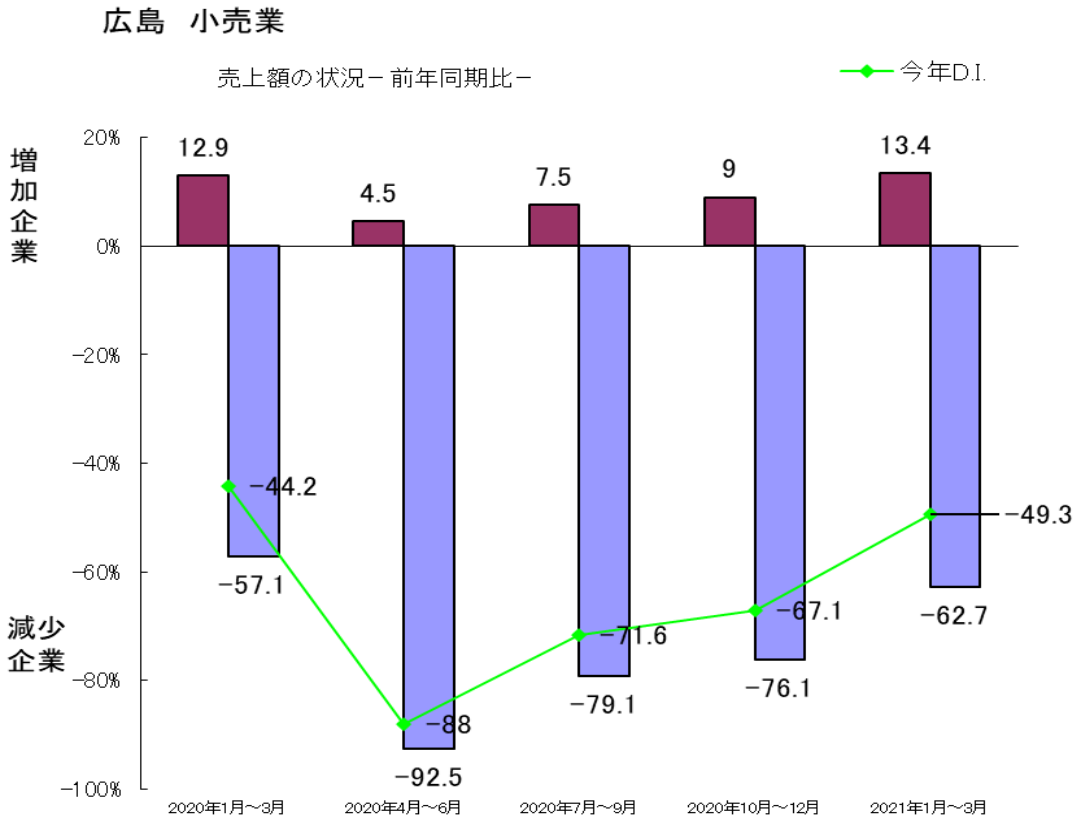
・ 仕入単価は上がっているのに都市部の安売りにお客さんを取られている状況か？またはコロナで多少なりとも自粛の影響もあるのか？しかしここ数年の暖冬に比べ、今年は寒いのがせめてもの救いである。（燃料小売業）

・ 当店は、コロナ回復後もコロナ前の経営状態維持は困難と思われる。早急にITの活用等により、地域の消費者ニーズの変化に対応することが急務。（書籍・雑誌小売業（古本を除く））

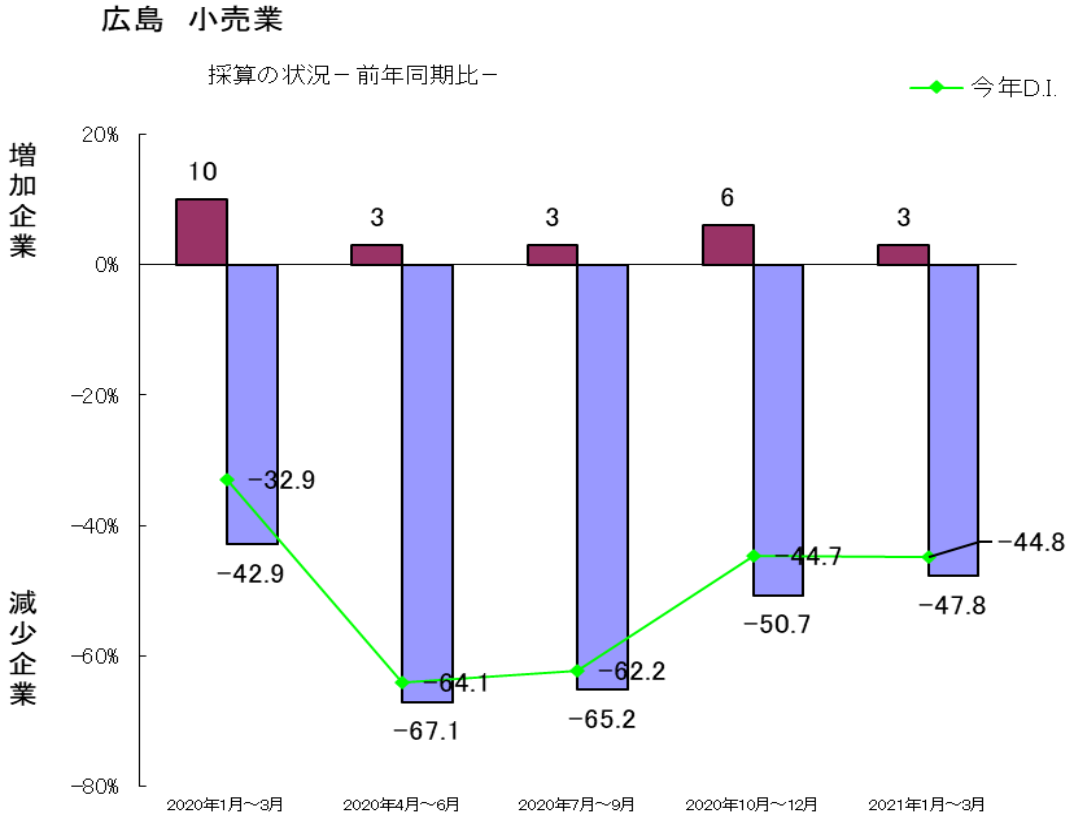
・ 人が集まる機会と場を作らないと厳しいと感じています。それはリアルとオンラインどちらかで、作りだす事が必要で、それを模索中です。（その他の飲食料品小売業）

小 売 業（商工会地域）

2.売上額　-前年同期比-

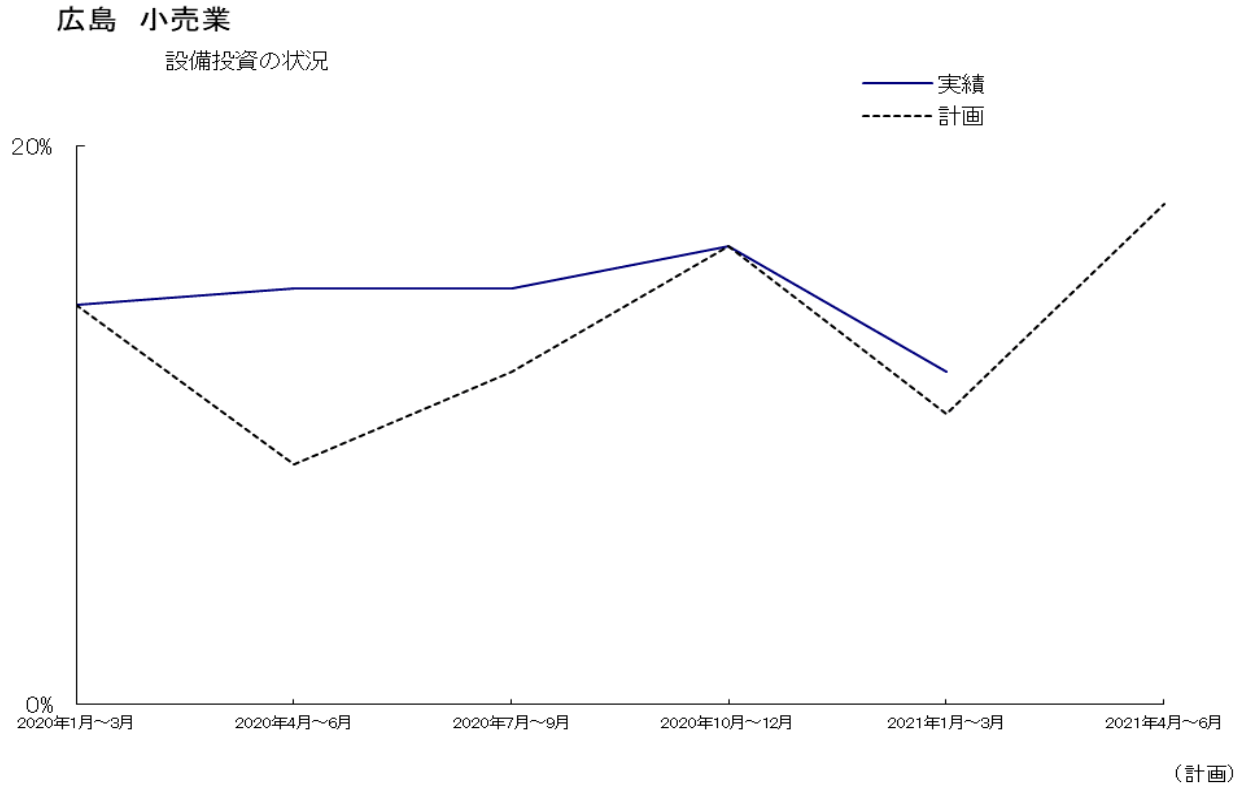


3.採算（経常利益）　-前年同期比-

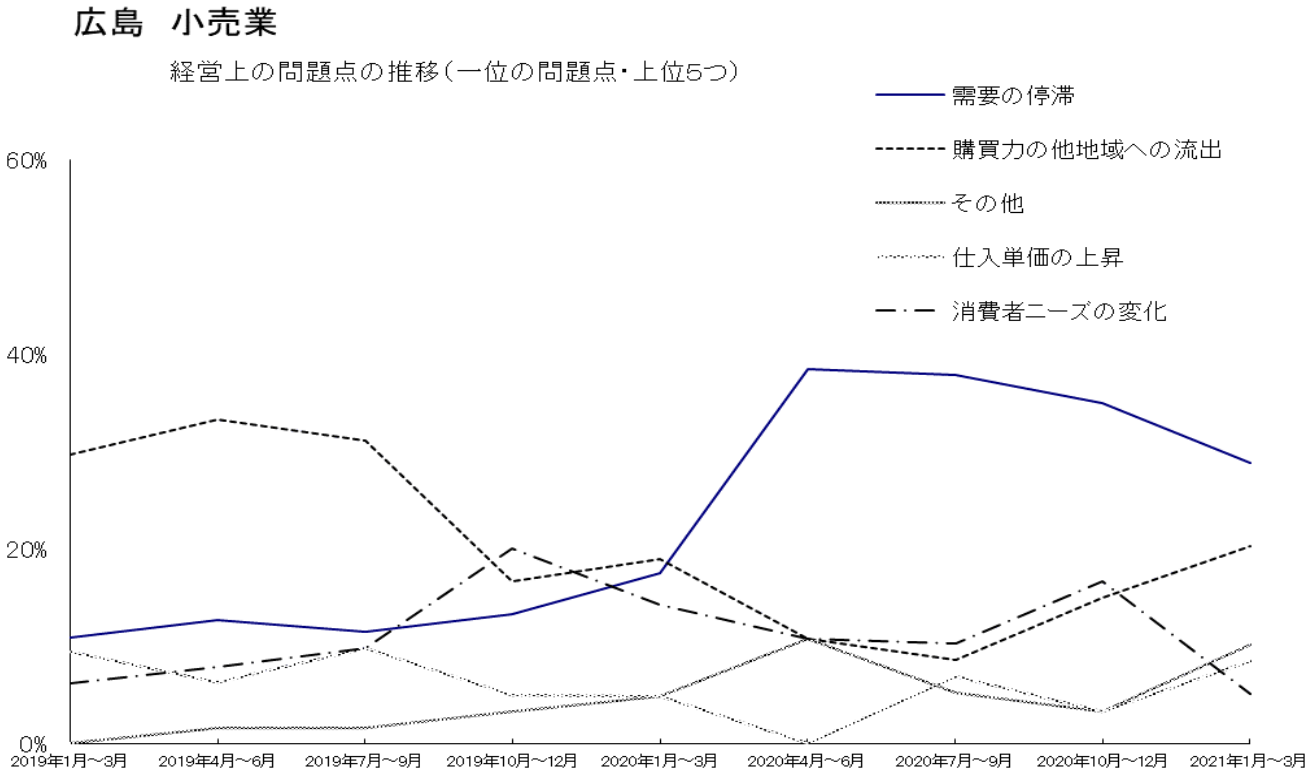


小 売 業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5.経営上の問題点　（1位の問題点・上位5つの推移）



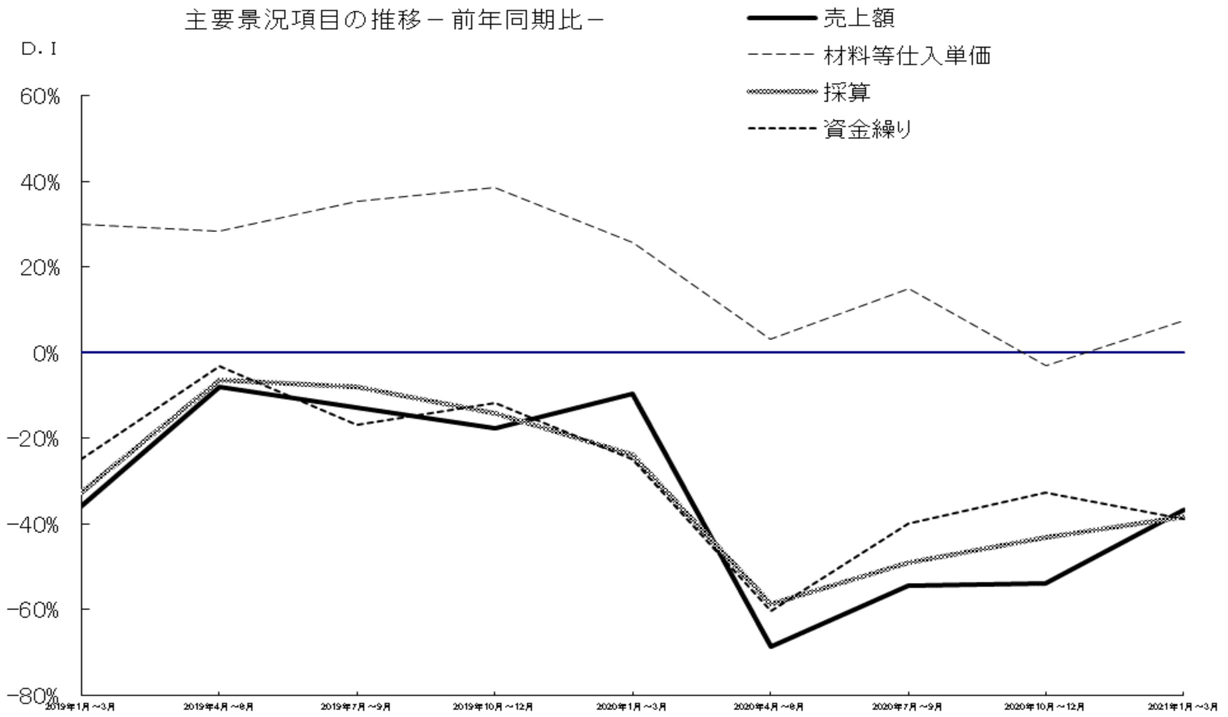
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 −前年同期比−

サービス業 DI　（前期）　　（今期）　　（来期見通し）

主要項目	R2.10～12	R3.1～3	前期との比較	R3.4～6	今期との比較
売上額	−54.0	−36.7	↗	−4.5	↗
材料等仕入単価	−3.1	7.5	↗	4.5	↘
採算	−43.1	−38.3	↗	−16.5	↗
資金繰り	−32.8	−38.8	↘	−15.2	↗

広島　サービス業



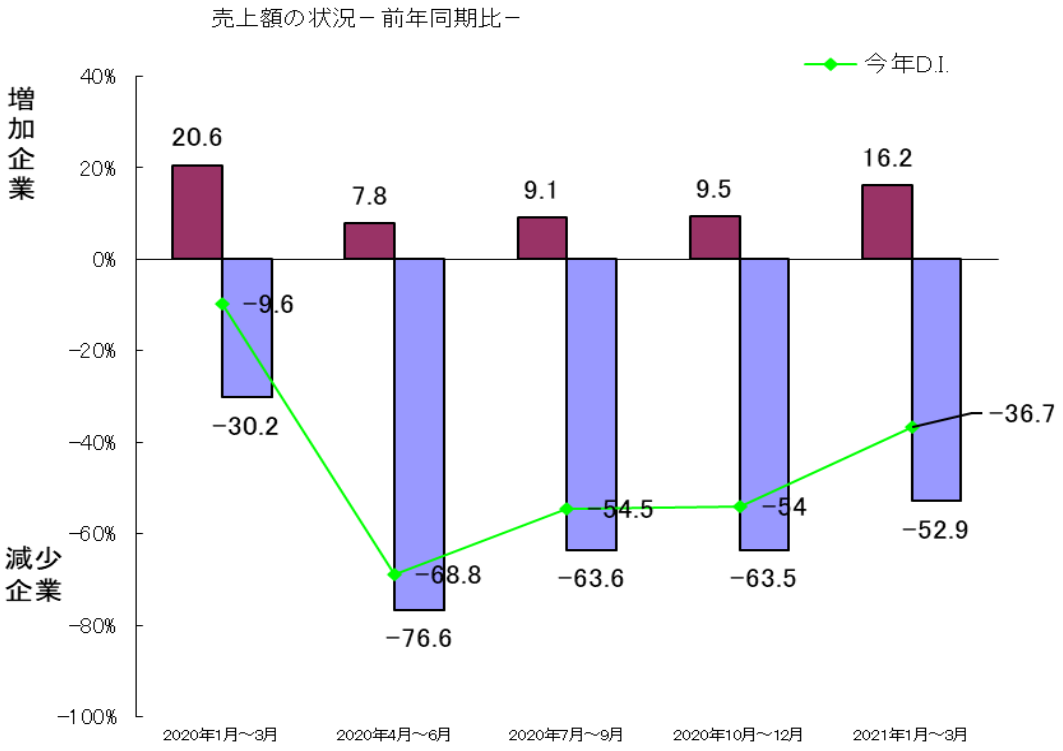
・・・・ 企業のコメント ・・

- コロナの影響でよくも悪くも波があり、昨年比もあてにならない。しかしながら、新しい生活様式に合わせて色々な取組をして客数や単価を落とさないようにしていきます。（美容業）
- コロナによる旅行停止で、貸し切り事業の収入はゼロである。収入のないところに、車両の維持費はかかる。燃料費はないものの、点検や保険・車検代や税金もある為、コロナが続けば更に悪化していくかと不安である。（一般乗用旅客自動車運送業）
- コロナ禍の中でも仕事は比較的安定しているものの、船員不足は年々深刻化してきている。それに伴い船員の給料も上昇してきており、今後の支出が増える可能性が高い。（沿海海運業）
- 緊急事態宣言、GOTOキャンペーンの有無で客足がまるで異なる。高齢者、ツアーの動きが非常に悪い。GOTO再開に関する大方の見通しが4月下旬であり、それまでは売上低迷が続くと見る。（旅館，ホテル）
- コロナ第三波の影響で、1月がかなり落ち込みましたが、2月からテイクアウト弁当や総菜の販売で、何とか乗り切れそうです。今後もテイクアウト弁当の販売も続けていけたらと思います。（食堂，レストラン（専門料理店を除く））
- 悪いことは確かだが、大きな変化はない。コロナもあり、動きづらい事もある。小規模企業であり、大きなことはせず、こつこつと頑張るだけである。（自動車一般整備業）

サ ー ビ ス 業（商工会地域）

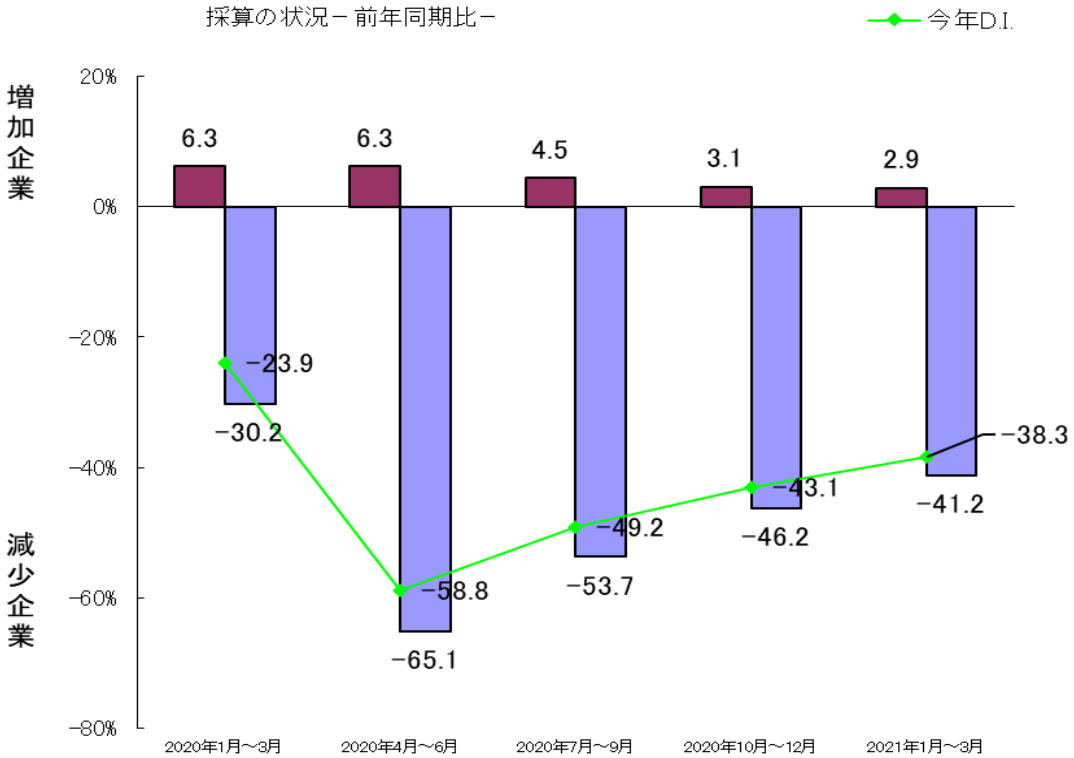
2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島　サービス業



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島　サービス業

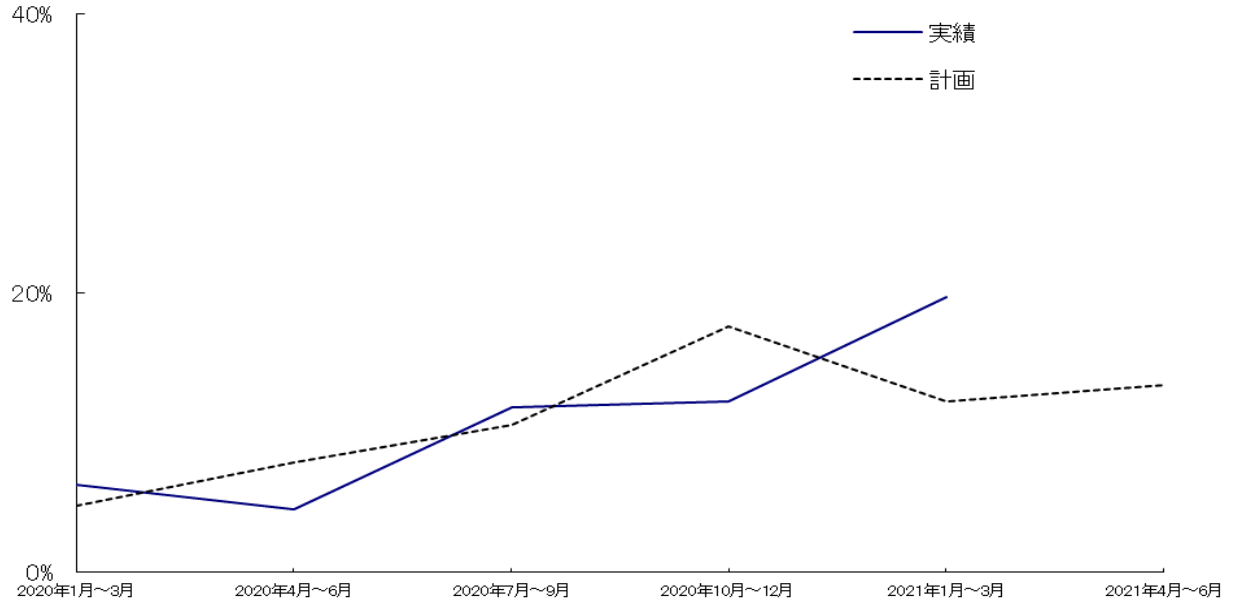


サ ー ビ ス 業（商工会地域）

4.設備投資の状況

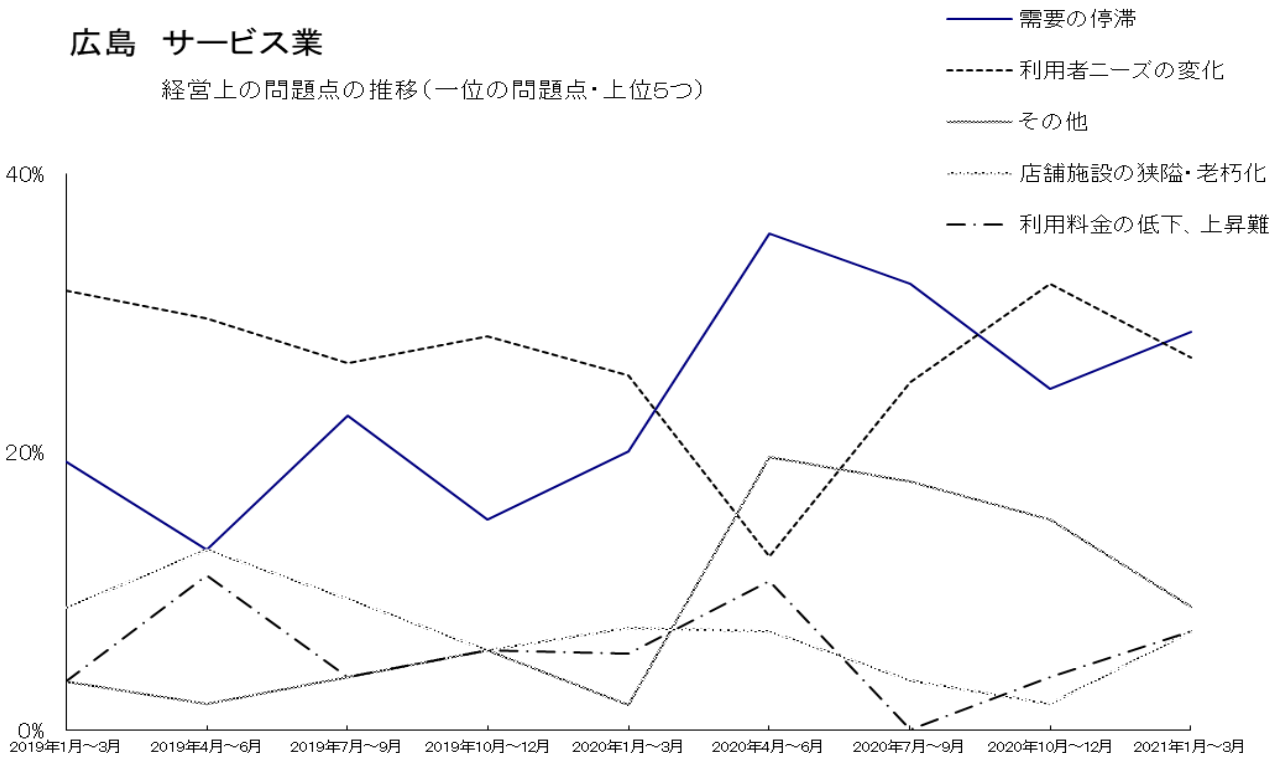
広島　サービス業

設備投資の状況



（計画）

5.経営上の問題点　（1位の問題点・上位5つの推移）

広島　サービス業

経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つ）